

## 長崎市提案型協働事業提案企画書

団 体 名	「みんなにやさしいトイレ会議」実行委員会
提案事業の名称	「みんなにやさしいトイレの扉」
提案事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレは、まちづくりの基本。お出掛け先のトイレは、人に安心感を与え、人の元気、ひいては街の賑わいを創出する。そのトイレを「使用する側」と「設置する側」、「専門家」、3つの視点で取り組んできた5年間の実績を活かし、更に「つなげる・ひろげる・役立てる」ために、様々な切り口（まちかどトイレ、赤ちゃんの駅、バリアフリー、外国人観光客向けなど）の「みんなに役立つ、知的で楽しいトイレの情報」発信をすることが目的。</li> <li>● また大きな課題のひとつ「使用者のマナー」について、他人事ではなく「自分事」として市民全体で意識を高めるための、「マナーアップ」を推進することが目的。</li> </ul>
課 題 の 緊急性・重要性	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 改修したトイレが2年余りで汚くなる、「まちかどトイレ」の提案が広がらない（根底に「貸すと汚される」という声がある）など、トイレ活動における「使う側のマナーの問題」が、大きな課題のひとつになっている。</li> <li>② トイレが本当に必要とされる「お年寄り、身体の不自由な方、パパママたち」に、欲しい情報が伝わっていない。（どこで探せばよいのかわからないという声が多い）</li> <li>③ 安心・安全でみんなにやさしいトイレのために、みんなで見守る必要性、トイレに対する関心を広げ、市民全体で考えることが、重要であり、まちづくりの基本ともなる。</li> </ol>
協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政だけでは「使う側の視点」が見えにくい。マナーの啓発なども、行政の感覚だけでは、受けとめられにくい。トイレ会議にとっては「設置する側の視点」が見えにくい。この2つが共に手を組むことで、視点の違いをカバーすることが出来る。</li> <li>● 単独では見えにくい「利用者と設置者の視点」が、きちんと活かされた「みんなにやさしい視点のトイレ」が実現され、市民、観光客、また地域の魅力に、確実につながっていく。</li> <li>● 情報発信においては、その両方の視点が必要である。</li> </ul>
協働による 相乗効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政と組むことで様々な課（例えばみどりの課・設備課・建築課など）に、現状などがストレートに伝わり、スムーズに解決される。</li> <li>● 課題や対策を考える時の関係機関（タクシー協会、メンテナンス会社など）とも関わりやすくなる。広報面での信用度、信頼感を得られる。</li> <li>● 行政にとっては、使う側の様々な視点に基づき、課題を解決することが可能となる。また行政の枠に捕らわれない、自由な発想のサイトにおいて、今まで見えにくかった新しい視点のトイレ情報発信を行うことで、多くの方に関心を持ってもらうことが可能となる。</li> </ul>
協働の役割分担	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 提案団体が果たそうとする役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心・安全でみんなにやさしいトイレの提言。</li> <li>● 5年間の実績により培ってきた活動力とネットワーク力を活かし、話題性と今までにないトイレ情報を統括したサイトを構築する。</li> <li>● トイレ＝便所ではなく「トイレの向こうに見えるもの」、文化・賑わい・元気・マナー・おもてな</li> </ul> </li> </ol>

し・まちの顔・便育など、幅広い意識感により、関心を広め、かつ高める役割を果たす。

●みどりの課、建築課、設備課、子育て支援課、観光推進課、バリアフリー協会など、事業対象となる機関と連携を図り、本事業に取り組む。

●「長崎おもてなしトイレ」となる基本体制を提言する。

## 2 本市に期待する役割

●安心・安全でみんなにやさしいトイレを実現し、継続する。またこれまでのトイレに関する様々な課題を確実に解決していく。

●トイレ活動に関わる様々な課との連携を調整する。

●長崎市の広報関係により周知のサポート。

●大人の便教イベントのPRサポート。

## ポータルサイトの構築及びトイレの再調査・大人の便教会イベント開催

出来る限り新しい情報を発信していくために、これまでに調査してきたトイレを再調査。

●10～15のトイレコンテンツ(トイレの扉)の中に、トイレの様々な情報を展開。トイレの向こうに見えるもの・生きていくうえで大事なトイレのことを、みんなで考えるサイトを構築する。

### トイレの扉の内容

① よこそ「みんなにやさしいトイレ会議」と「まちなか事業推進室」へ

② ちょっと出してね?「まちかどトイレ」(ストリートビューアー方式採用)

④ お出掛け先の安心感(トイレマップ観光地編)

⑤ パパママにうれしい「赤ちゃんの駅」

⑥ バリアフリーのトイレアプリも、入ってます。

⑦ みんなで考えたい! 使い勝手の基本の「き」

⑧ WE LOVE TOILET! (トイレ会議勝手に推薦トイレ)

⑨ 一億総活躍! ?トイレ (こんなトイレがあったらいいアイデア募集)

⑩ 必! 災害時のトイレ (日本トイレ協会、専門家の視点)

⑪ 大人の便教時間 (知っておきたい情報・イベント・出前講座・

日本トイレ協会の情報及びトイレ洗流開催など)

⑫ 流せない! マナーの現状(マナーの悪さの現状を調査、一般からの意見も募集)

⑬ みんなでトイレ検定(初級・中級・超上級) 上級をクリアした方には

「マナーアップメンバーカード」発行シリアルナンバー入り。このカードはマナーアップ推進員であることを証明する。※将来的には店舗とコラボ、特典が受けられるようにしたい。

⑭ WELCOME TO TOILET!(外国人観光客向けのリンク先)

### イベント大人の便教時間

大 今、話題のお掃除コンシェルジュ「新津春子」氏の「トイレのおそうじ会(仮題)」

NHK プロフェッショナル 仕事の流儀

<<http://www.nhk.or.jp/professional/2015/0601/>>

[www.nhk.or.jp](http://www.nhk.or.jp)

または アントイレプランナー「白倉正子」(日本トイレ協会理事)

対象:長崎市民 開催予定:平成30年2月

提案事業の内容

	<p><b>小</b>出前講座 テーマ「トイレの向こうに見えるもの」講師 竹中晴美</p> <p>対象：一般市民 開催予定 年4回(アマランスなど公民館)</p>
<p>提案事業の 実施体制</p>	<p>① 総括責任者 委員長 竹中晴美</p> <p>② 個別担当・経理・調査・情報収集(トイレ調査、推薦トイレ、)・進捗管理・トイレ検定 委託担当・大人の大・小勉強会(出前講座)</p> <p>③ 専門分野・・・災害時のトイレ</p> <p>④ 委託・・・ポータルサイト構築の専門家・原稿制作および入力作業</p>
<p>事業 スケジュール</p>	<p>4月～ 6月 ●トイレ再調査・情報収集・大人の勉強会(出前講座)年4回、日程調 整・交渉など・トイレ検定問題作成</p> <p>●ポータルサイトのデザイン案、内容について討議・委託先との打ち合わせ</p> <p>7月～ 9月 ●ポータルサイト最終打ち合わせ・オープン準備・記者発表など広報</p> <p>9月 ●ポータルサイト・オープン！！マナーアップカード発行準備</p> <p>10月～ 12月 ●大人の便教会イベント企画打ち合わせ。</p> <p>12月 ●イベント準備及びPR告知開始</p> <p>1月 ●大人の便教会告知</p> <p>2月 ●大人の便教イベント開催</p> <p>3月 ●事業の検証及び検討する会</p>
<p>事業の展望及び 今後の活動展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「安心・安全でみんなにやさしいトイレへ」の取り組みを維持する。</li> <li>●「まちかどトイレ」や「長崎市おもてなしトイレ事業」のトイレを対象に、ある程度のレベルを維持するトイレに表彰状と共に「おもてなしトイレ認定証シール」を発行。「おもてなしトイレ」の更なる向上を協働でバックアップする。</li> <li>●「マナーアップメンバーカード」を店舗協力による「割引やポイント」など特典付きで、増進を図る。</li> <li>●トイレをイメージアップするスポンサーを確保し、公共的なイメージ広告などにより、さらに話題性のあるポータルサイトとして進化させたい。</li> </ul>